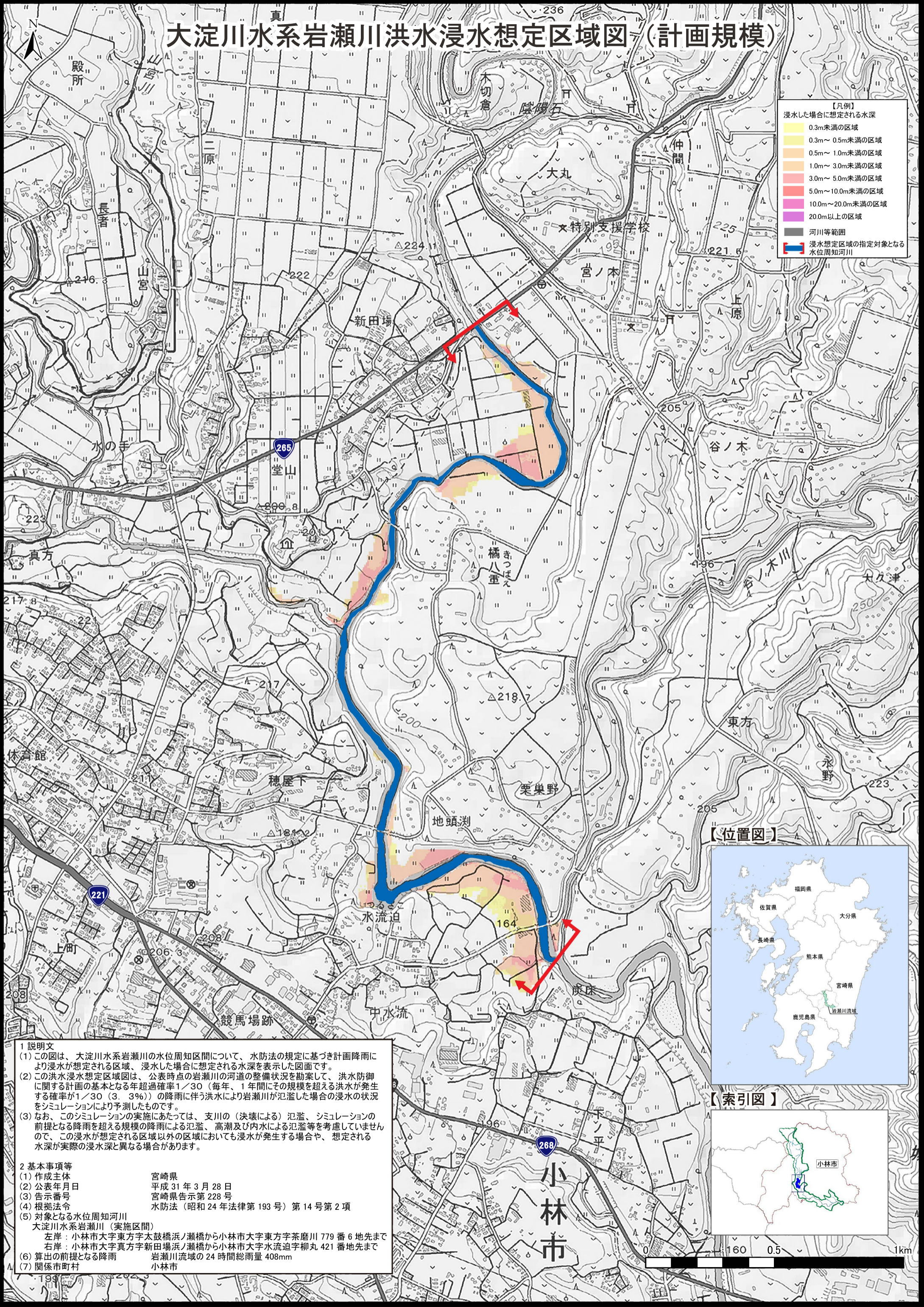


大淀川水系岩瀬川洪水浸水想定区域図（計画規模）



【位置図】



【索引図】



1 説明文

(1) この図は、大淀川水系岩瀬川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の岩瀬川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3.3%））の降雨に伴う洪水により岩瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 宮崎県

(2) 公表年月日 平成31年3月28日

(3) 告示番号 宮崎県告示第228号

(4) 根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14号第2項

(5) 対象となる水位周知河川 大淀川水系岩瀬川（実施区間）
 左岸：小林市大字東方字太鼓橋浜ノ瀬橋から小林市大字東方字茶磨川779番6地先まで
 右岸：小林市大字真方字新田場浜ノ瀬橋から小林市大字水流迫字柳丸421番地先まで

(6) 算出の前提となる降雨 岩瀬川流域の24時間総雨量408mm

(7) 関係市町村 小林市